

## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 成学社

コード番号 2179 URL <http://www.kaisei-group.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 太田 明弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 藤田 正人

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日

TEL 06-6373-1595

平成25年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	4,596	3.5	34	△83.8	41	△80.0	2	△97.6
25年3月期第2四半期	4,440	13.7	216	14.4	209	23.2	95	49.4

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 2百万円 (△97.1%) 25年3月期第2四半期 94百万円 (52.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	0.40	0.39
25年3月期第2四半期	16.27	16.19

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	
26年3月期第2四半期	5,841		1,923		32.9
25年3月期	5,843		1,943		33.3

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 1,923百万円 25年3月期 1,943百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
25年3月期	—	8.70	—	4.35	円 銭	13.05
26年3月期	—	4.60	—	—	円 銭	—
26年3月期(予想)	—	—	—	4.60	円 銭	9.20

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 24年10月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。そのため、25年3月期の1株当たり配当金については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,239	5.7	661	1.6	658	1.4	357	9.1	61.15

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	5,856,800 株	25年3月期	5,844,800 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	260 株	25年3月期	260 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	5,851,866 株	25年3月期2Q	5,840,588 株

(注) 24年10月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。そのため、期末発行済株式数、期末自己株式数ならびに期中平均株式数につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定してそれぞれ算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権の経済政策、金融政策に対する期待感から円安株高が進行し、高価格帯の消費動向には改善の動きが見られたものの、雇用、所得環境は依然として厳しい状況が続き、景気の先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主力事業である学習塾業界では、少子化の影響や顧客ニーズの多様化により学習塾の選別基準は厳しさを増しており、業界内での競争は激化しております。

このような状況の下、当社グループでは、教務内容の充実によりサービス水準を向上させるとともに、英会話教室の運営、学校法人等への講師派遣を通じて、総合教育企業への発展を図っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,596,825千円（前年同期比3.5%増）となりましたが、主に教育関連事業の収益が悪化したことで、営業利益は34,978千円（前年同期比83.8%減）、経常利益は41,889千円（前年同期比80.0%減）となり、法人税等の負担により、四半期純利益は2,312千円（前年同期比97.6%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①教育関連事業

クラス指導部門については、9月末時点の塾生数は10,643人となり、前年同月比3.9%減少する厳しい結果となりました。これは、第一の塾生募集期である新年度塾生募集が不調であったことに加え、第二の塾生募集期である夏期特別授業においても芳しくない結果に終わったことにあります。これにより、既存ブランドの売上高は前年から減少いたしました。事業譲受した「サンライトアカデミー」の寄与および学校法人等への講師派遣の需要を取り込んだことで、売上高は前年と同水準となりました。

一方、個別指導部門については、9月末時点の塾生数は14,299人となり、前年同月比4.6%増加いたしました。主力ブランドである「個別指導学院フリーステップ」が牽引し、塾生数および売上高ともに前年を上回って推移しております。

教室展開については、当第2四半期連結累計期間において、1教室（サンライトアカデミー）の事業譲受および3教室（大阪府2教室、兵庫県1教室）を新規開校し、9月末時点の教室数は206教室となりました。

費用面については、今後の事業拡大のための人員配置および広告宣伝活動を積極的に行うとともに、「個別指導学院フリーステップ」のフランチャイズ展開を強化するための先行投資を行っております。

この結果、売上高は4,484,628千円（前年同期比3.8%増）となり、セグメント利益（営業利益）は250,044千円（前年同期比39.7%減）となりました。

#### ②不動産賃貸事業

所有不動産の余剰スペースを賃貸している不動産賃貸事業については、前年と同水準の賃貸状況であったことから、売上高は26,874千円（前年同期比1.1%減）となり、防犯設備の強化、老朽化による不動産修繕により費用が増加したため、セグメント利益（営業利益）は26,437千円（前年同期比5.8%減）となりました。

#### ③飲食事業

飲食事業については、個人消費の低迷等により厳しい環境が続いているうえ、食材の高騰や人員確保のための人件費が増加いたしました。この結果、売上高は85,322千円（前年同期比8.5%減）となり、セグメント損失（営業損失）は5,144千円（前年同期はセグメント利益（営業利益）3,742千円）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する説明

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末から44,680千円（2.0%）減少し、2,138,071千円となりました。これは主として現金及び預金が前連結会計年度に比べ78,472千円増加、営業未収入金が前連結会計年度に比べ162,952千円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末から43,061千円（1.2%）増加し、3,703,553千円となりました。これは主として有形固定資産が前連結会計年度に比べ66,998千円増加、差入保証金が前連結会計年度に比べ21,250千円減少したことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末から1,619千円（0.0%）減少し、5,841,625千円となりました。

## (負債)

流動負債は、前連結会計年度末から186,173千円(7.3%)減少し、2,373,303千円となりました。これは主として短期借入金が前連結会計年度に比べ166,668千円、前受金が同128,835千円増加し、未払法人税等が前連結会計年度に比べ106,526千円、買掛金が同82,779千円、その他に含まれる営業未払金が同254,159千円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末から204,223千円(15.2%)増加し、1,544,722千円となりました。これは主として長期借入金が増加し、前連結会計年度に比べ216,138千円増加したことによります。

この結果、負債は、前連結会計年度末から18,050千円(0.5%)増加し、3,918,026千円となりました。

## (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末から19,669千円(1.0%)減少し、1,923,598千円となりました。これは主として利益剰余金が増加し、前連結会計年度に比べ23,110千円(1.5%)増加したことによります。

## (キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、1,031,972千円となり、前連結会計年度末に比べ、73,962千円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は、71,024千円(前年同期は108,805千円の収入)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益37,540千円、減価償却費128,710千円がそれぞれ計上されたものの、未払金の減少額253,798千円があったこと等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、209,478千円(前年同期比16,233千円の支出減)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出211,670千円等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、354,465千円(前年同期比250,360千円の収入増)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出213,641千円、配当金の支払額25,685千円があったものの、長期借入による収入450,000千円、短期借入金の純増加額166,668千円を計上したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、前回公表(平成25年5月14日)の通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,058,976	1,137,449
営業未収入金	809,490	646,538
商品	60,641	38,802
貯蔵品	11,002	17,911
その他	279,022	335,860
貸倒引当金	△36,380	△38,489
流動資産合計	2,182,752	2,138,071
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,062,844	2,118,731
減価償却累計額	△774,673	△850,392
建物及び構築物(純額)	1,288,170	1,268,338
土地	910,950	923,046
その他	472,572	576,806
減価償却累計額	△259,940	△289,440
その他(純額)	212,631	287,366
有形固定資産合計	2,411,753	2,478,751
無形固定資産		
のれん	32,181	45,246
その他	100,484	86,908
無形固定資産合計	132,666	132,155
投資その他の資産		
差入保証金	807,202	785,952
その他	321,670	317,693
貸倒引当金	△12,799	△10,999
投資その他の資産合計	1,116,072	1,092,646
固定資産合計	3,660,492	3,703,553
資産合計	5,843,244	5,841,625

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	140,751	57,972
短期借入金	410,000	576,668
1年内返済予定の長期借入金	381,289	401,510
未払法人税等	182,305	75,779
賞与引当金	91,529	114,962
前受金	566,370	695,206
その他	787,230	451,204
流動負債合計	2,559,476	2,373,303
固定負債		
長期借入金	967,461	1,183,599
退職給付引当金	16,829	16,829
役員退職慰労引当金	13,061	15,923
資産除去債務	247,942	254,809
その他	95,205	73,561
固定負債合計	1,340,499	1,544,722
負債合計	3,899,975	3,918,026
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	231,208	232,708
資本剰余金	171,208	172,708
利益剰余金	1,539,959	1,516,848
自己株式	△52	△52
株主資本合計	1,942,324	1,922,213
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	944	1,385
その他の包括利益累計額合計	944	1,385
純資産合計	1,943,268	1,923,598
負債純資産合計	5,843,244	5,841,625

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	4,440,301	4,596,825
売上原価	3,497,949	3,761,880
売上総利益	942,351	834,945
販売費及び一般管理費	※1 726,040	※1 799,967
営業利益	216,311	34,978
営業外収益		
受取利息	878	900
受取配当金	73	131
保険解約返戻金	—	14,412
その他	8,120	6,608
営業外収益合計	9,072	22,053
営業外費用		
支払利息	15,168	13,788
その他	647	1,354
営業外費用合計	15,816	15,142
経常利益	209,567	41,889
特別損失		
減損損失	2,318	4,348
特別損失合計	2,318	4,348
税金等調整前四半期純利益	207,249	37,540
法人税、住民税及び事業税	140,901	64,338
法人税等調整額	△28,668	△29,110
法人税等合計	112,232	35,227
四半期純利益	95,016	2,312

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
四半期純利益	95,016	2,312
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△316	441
その他の包括利益合計	△316	441
四半期包括利益	94,700	2,753
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	94,700	2,753
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	207,249	37,540
減価償却費	126,012	128,710
減損損失	2,318	4,348
のれん償却額	7,393	5,459
長期前払費用償却額	5,465	6,670
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,216	309
賞与引当金の増減額(△は減少)	16,177	23,433
受取利息及び受取配当金	△951	△1,031
保険戻金	—	△14,412
支払利息	15,168	13,788
売上債権の増減額(△は増加)	47,858	162,952
たな卸資産の増減額(△は増加)	20,549	14,929
仕入債務の増減額(△は減少)	△79,637	△82,779
未払金の増減額(△は減少)	△224,113	△253,798
前受金の増減額(△は減少)	129,329	128,835
未払費用の増減額(△は減少)	△19,331	△18,881
その他	3,896	△43,600
小計	259,601	112,472
利息及び配当金の受取額	345	338
利息の支払額	△15,212	△14,557
法人税等の支払額	△135,928	△169,278
営業活動によるキャッシュ・フロー	108,805	△71,024
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△8,111	△4,510
定期預金の払戻による収入	3,600	—
保険解約による収入	—	14,412
有形固定資産の取得による支出	△193,372	△211,670
無形固定資産の取得による支出	△546	△8,715
資産除去債務の履行による支出	△9,043	△2,971
子会社株式の取得による支出	—	△1,000
事業譲受による支出	—	△19,720
長期貸付けによる支出	△3,000	—
長期貸付金の回収による収入	1,197	1,966
差入保証金の差入による支出	△33,721	△11,258
差入保証金の回収による収入	18,475	38,505
その他の支出	△1,373	△4,604
その他の収入	185	88
投資活動によるキャッシュ・フロー	△225,711	△209,478

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	143,600	166,668
長期借入れによる収入	225,000	450,000
長期借入金の返済による支出	△211,879	△213,641
配当金の支払額	△25,324	△25,685
その他の支出	△27,490	△25,875
その他の収入	200	3,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	104,105	354,465
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△12,800	73,962
現金及び現金同等物の期首残高	995,760	958,009
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 982,959	※1 1,031,972

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	教育関連事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	4,319,896	27,186	93,218	4,440,301	—	4,440,301
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	13,638	—	13,638	△13,638	—
計	4,319,896	40,824	93,218	4,453,939	△13,638	4,440,301
セグメント利益	414,511	28,055	3,742	446,309	△229,997	216,311

(注) 1 セグメント利益の調整額△229,997千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△229,997千円であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	教育関連事業 (千円)	不動産賃貸事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	4,484,628	26,874	85,322	4,596,825	—	4,596,825
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	13,658	—	13,658	△13,658	—
計	4,484,628	40,532	85,322	4,610,484	△13,658	4,596,825
セグメント利益又は 損失(△)	250,044	26,437	△5,144	271,336	△236,357	34,978

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△236,357千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△236,357千円であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。